

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金 活動報告書(2022年7月～2023年3月)

学校名 徳島県立徳島科学技術高等学校
クラブ名 写真部

◆2022年の活動報告

2022年度の写真部員の活動は、週に2回部室に集まって日頃自分たちのテーマで撮った写真の講評やレタッチ・印刷を行いました。また長期休業日中に撮りためた写真でフォトブックを制作しました。

学校行事の撮影では、校内球技大会や文化祭体育祭など今まで撮影していた行事はもちろんですが、今年度は卒業式の撮影を初めて写真部員が行わせていただきました。2名の参加でしたが、写真部にとっては大きな一歩になりました。

8月の全国高文祭や11月の近畿高文祭では、撮影会等の行事に参加し、他校の生徒から刺激を受けました。また11月の県高文祭の行事の生徒交流会では、司会進行を科技校写真部員で行いました。

毎月生徒会主催で行われる学校周辺の清掃活動にも自主的に参加しました。また12月の徳島マラソンの清掃ボランティアにも参加しました。

校外での写真展を「あわぎんプラザ」で3月25日から27日まで行いました。写真作品A3とA3ノビサイズで35点とフォトブック10点出品しました。「高校生らしいいい作品だ」と好評を得たり、何十年も前に自主的に写真部展を行ったOBの方が駆けつけてくださる出来事もありました。

◆助成金の使途

助成金は全紙サイズの写真印刷ができる エプソン プリンター A2 ノビ インクジェット SC-PX1VL 本体とそのインクの購入費の一部に使わせていただきました。

◆今後の抱負

徳島科学技術高校写真部は、世間の高校写真部に期待する「高校生らしさ」ではなく、自分たちのテーマを決めて日夜写真撮影力等の向上に精進していきます。技術は現時点では大人やプロよりはつたないものかもしれませんが、「ずっと楽しむもの」としての写真への姿勢を大切にして、4月からは写真甲子園やその他の応募が始まりますが、楽しみながらしっかりと、そういったものにチャレンジしていきます。また部員が自主的に開催する写真展は来年3月に行う予定です。

◆令和5年度の活動報告

<活動の目的>

JRC部では、毎年テーマを決めてボランティア活動等に取り組んでいる。これまで、近隣のバス停の清掃活動や防災に関する取組、地域で行われるイベントでのボランティア活動に積極的に参加してきた。コロナ禍により、活動が制限される中ではあるが、今できることを話し合い、地元を愛し、地域や人に役立つ人材の育成を目指して主体的に行動する力を養うことを目的としている。

<主な活動の内容>

昨年度、JRC部では、特に補助犬の啓発活動に力を入れて取り組み、那賀高校版補助犬マークを使ってマグネット等グッズを作製し啓発活動を行った。そして、補助犬とくしまの杉井代表と出会い、お話の中から災害時に補助犬と一緒に避難するための衝立があると非常にありがたいと教えていただき、衝立作りに挑戦し作成した。

今年度のJRC部の活動は、防災に関する活動に力を入れて取り組むこととした。防災に関する啓発活動をとおして「地域との顔の見える関係づくり」を目指し、感染予防対策を行いながら今できることを考え活動した。小中学生と共に学ぶ防災プログラムへの参加し、防災ゲームをとおして交流した。また、相生晩茶や藍で染めた防災マスクを作製し、地域で行われるイベントの来場者に配付した。最初は初めて出会う方に声をかけることが難しく大変緊張したが、次第に慣れてきて、丁寧に対応できるようになった。さらに、家庭クラブ員と共に卒業生へ向けて防災リュックを手作りした。加えて、防災に関する知識をもっと広く知ってもらおうと、「いざというときに役立つ防災豆知識」動画を作成し、本校のホームページで紹介した。また、引き続き避難所で役立つ衝立作りに取り組んだ。今回は、「地域資源を活かした衝立作り」をテーマとし、素材に廃材を使って木枠を作り、木頭杉や相生晩茶を活用し染色したものを使い、消臭・抗菌効果を付加した衝立に仕上げた。他校との交流として、防災クラブ交流イベントや那賀町で行われた防災まつりに参加し、日頃の活動を発表した。



◆助成金の使途

防災リュックやマスク作製に関する費用・防災プログラムで使用したレスキューフーズなどの購入費用・衝立制作に必要な木材など購入費用、展示発表にかかる費用等

◆今後の抱負

これらの活動を通して、生徒の防災に関する意識の向上や、将来地域で活動できる防災リーダーの育成に寄与することができた。今後はこれまでの活動に加えて、専門機関との連携を密にし、防災キャンプや炊き出し訓練をとおして、より高度な知識や技能を身に付ける等、一層活動を深化させていきたいと考えている。

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金
活動報告書(令和4年7月～令和5年3月)

学校名 徳島県立城東高等学校
クラブ名 美術部

◆ 令和4年度の活動報告

- ・5月放美展 入賞2点入選4点
- ・6月4日 大塚国際美術館鑑賞実習
- ・7～8月城東祭テーマ旗(6×6m)制作・城東祭ミニ展示即売
- ・8月全国高等学校総合文化祭東京大会美術・工芸部門徳島代表作品出品(3年生徒)
- ・11月徳島県高等学校総合文化祭9点出品(2点奨励賞)
- ・2月5日徳島ガラススタジオ ガラス制作実習 美術部1・2年
- ・1月 年賀状コンクール入賞1点・石膏彫刻コンテスト次点1名
- ・3月15日 女子美大講師による銅版画制作実習 美術部1・2年

◆ 助成金の使途

- ・日々制作用の活動画材 (下地塗り用のジェッソ 油画・アクリル画用10mのロールキャンバス油絵用絵の具・オイルの購入 アクリル絵の具・メディウムの購入)
- ・出品費用の半額助成
- ・展示用額の購入…水彩画用のマット額および各出品サイズの仮額の購入
- ・徳島ガラススタジオ工房ガラス体験 交通費等
- ・美術大学講師授業用版画教材道具(プレス用フェルト・版画用紙等)
- ・大塚国際美術館等美術館鑑賞実習の交通費等助成

◆ 今後の抱負

今回いただいた助成金のおかげで、出品するための制作費用や展示額等準備に充てることができ、展覧会に出品する機会が増えました。生徒の制作内容も油絵から版画まで、幅広い分野で取り組むことができ、制作の幅が広がりました。さらに、美術館鑑賞やガラス工芸実習、銅版画実習など現地での体験を各種取り組むことができ、部として得るものが多い1年でした。今後、この成果を作品に生かすとともにこの一年間でできた縁をさらに広げ、活動や活躍の機会を増やしていきます。美術部員の進路目標は医学や法学など多岐に渡っているが、アートを一生の糧となるよう着実に活動を進めたい。

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金
活動報告書(2022年7月～2023年3月)

学校名 徳島県立阿南光高等学校

クラブ名 あこうバンブークラブ

◆2022年の活動報告

あなんまちゼミ(8月22日・26日、9月4日本校)

延べ22名の市民を対象にぽてっとライトの製作指導を行った。

離島プロジェクト(12月18日)

香川県丸亀市牛島を訪問し、島民にぽてっとライトを無料配付した。

各種イベントへの参加

抜粋(あなんまちマルシェ、あらたのマルシェ、阿南市活竹祭等)

◆助成金の使途

1. ぽてっとライト製作に使用するための工具類購入費
2. 離島プロジェクトで無料配付するための材料費
3. 各種イベント参加に要する参加費・交通費
4. 新たな商品開発に要する研究費

◆今後の抱負

これまで近隣5校の中学校においてぽてっとライトが技術の教材として採用されているが、さらに県内各地の中学校や、県外の中学校においても利用が広まるよう、準備を進めて行きたい。また、昨年初めて実施したまちゼミを今年も継続して行い、将来的には阿南市のふるさと納税の返礼品としてぽてっとライトが採用されることを目指す。

徳島新聞「輝け高校生」クラブ活動助成金 活動報告書(2022年7月～2023年3月)

学校名 徳島県立阿波高等学校

クラブ名 音楽部

◆ 年の活動報告

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 2022年7月23日 | 第70回全日本吹奏楽コンクール徳島県大会 銅賞 |
| 2022年7月29日 | 令和4年度徳島県学校合奏コンクール 銀賞 |
| 2022年9月4日 | 文化祭 |
| 2022年10月30日 | 第41回徳島県高等学校総合文化祭 音楽部門奨励賞 |
| 2022年12月25日 | 第6回 徳島県弦楽器コンテスト 銅賞 |
| 2023年1月15日 | 第50回 徳島県コンテスト木管八重奏/金管五重奏 銅賞 |
| 2023年3月26日 | 徳島県立阿波高等学校音楽部第3回定期演奏会 |

◆ 助成金の使途

2023年3月26日の 徳島県立阿波高等学校音楽部 第3回 定期演奏会に
近隣の 阿波市立市場中学校 音楽部と 合同演奏を行った。(場所:3エルワホム)
その際 生じた 出費に 助成金をあてた。

- 市場中学校 交通費 30,000円
- お礼(楽器借入・定期賛助指揮) 46,448円
- 定期演奏会費用 60,685円
- 黒崎楽器への支払い(弦楽器の修理代) 62,867円

◆ 今後の抱負

本校が所在する阿波市は、子どもの数が減り、学校の部活動で音楽部に所属する生徒数も減少している。また、阿波市で行われる演奏会の数は、徳島市と比べると少なく、子どもから大人の幅広い年齢層まで生の音楽に触れる機会は限られている。

このことから本校の音楽部が地域と関わり、地域全体の音楽活性化につなげる活動をしていきたいと考えた。今年の定期演奏会では、近隣の中学校と合同で演奏を行うことにより、中学生はとても喜んでくれ、演奏する楽しさより実感でき、音楽をこれからも続けていきたいという声があった。また、会場には家族連れの他、学校関係者以外の方も来場していた。

これからも地域と関わりながら音楽活動を続け、阿波市全体が音楽であふれる温かい市へと発展させたい。